名前（　　）　日付　　月　　日

理科 中 2 日本の天気と気象災害

問 1　大気の動きと海陸風

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　日本付近の上空で、一年を通して西から東へ吹く風を何というか。	
(2)　日本付近の高気圧や低気圧は、一般にどの向きに移動するか。	
(3)　夏と冬で、吹く向きが大きく変わる風を何というか。	
(4)　晴れた日の昼、海岸で海から陸へ吹く風を何というか。	
(5)　晴れた日の夜、海岸で陸から海へ吹く風を何というか。	
(6)　海と陸では、温まりやすく冷えやすいのはどちらか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

晴れた日の昼、海岸付近で海風が吹くのはなぜか。
海と陸の温まり方、空気の動きを使って説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

理科 中 2 日本の天気と気象災害

問 2　冬の天気

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　冬の日本付近で、西側が高気圧、東側が低気圧となる気圧配置は何か。	
(2)　冬の日本の天気に強く影響する、寒冷で乾燥した気団は何か。	
(3)　冬型の気圧配置のとき、本州付近の季節風は主にどの方位から吹くか。	
(4)　冬の季節風が日本海を渡る間に、海から取りこむものは何か。	
(5)　冬型で雪や雨が多いのは、日本海側と太平洋側のどちらか。	
(6)　冬型で乾燥して晴れやすいのは、日本海側と太平洋側のどちらか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

冬型の気圧配置では、日本海側に雪や雨が降り、太平洋側は晴れやすい。
季節風、水蒸気、山地を使って、この違いが生じる理由を説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

理科 中 2 日本の天気と気象災害

問 3　春と秋の天気と梅雨

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　春や秋、日本付近を西から東へ移動し、晴天をもたらす高気圧は何か。	
(2)　春や秋の高気圧や低気圧を、西から東へ動かす上空の風は何か。	
(3)　本州で春から夏に移るころ、雨やくもりが続く時期を何というか。	
(4)　梅雨の時期、日本付近に停滞して雨を降らせる前線を何というか。	
(5)　梅雨のころ、日本の北東から影響する寒冷で湿潤な気団は何か。	
(6)　夏から秋に移る時期、日本付近に停滞して長雨をもたらす前線は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

春や秋の天気が、数日ごとに変わりやすいのはなぜか。
高気圧と低気圧の動きに触れて説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

理科 中 2 日本の天気と気象災害

問 4　夏の天気と台風

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　夏の日本をおおい、蒸し暑い天気をもたらす温暖で湿潤な気団は何か。	
(2)　夏に現れやすい、南側の気圧が高く北側の気圧が低い配置は何か。	
(3)　夏に地面が強く熱せられて発達し、雷や急な強い雨を伴う雲は何か。	
(4)　北西太平洋や南シナ海の、強く発達した熱帯低気圧は何か。	
(5)　台風とよばれる熱帯低気圧の最大風速は、何 m/s 以上か。	
(6)　台風の中心付近に見られる、雲が少なく風の弱い領域を何というか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

台風と温帯低気圧について、発生しやすい場所と、
前線の有無の違いを説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

理科 中 2 日本の天気と気象災害

問 5　気象災害と防災

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　大雨などで川の水が著しく増える現象を何というか。	
(2)　がけ崩れ・地すべり・土石流などの災害をまとめて何というか。	
(3)　低気圧や強風により、海面がふだんより高くなる現象は何か。	
(4)　積乱雲が列をなし、ほぼ同じ場所に強い雨を降らせる雨域は何か。	
(5)　災害が想定される区域や、避難場所などを示した地図を何というか。	
(6)　危険を避けて、自分の安全を確保する行動を何というか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

大雨により、自宅付近に避難指示が出た。
近くの川へ様子を見に行くのは適切か。
理由と、とるべき行動を説明しなさい。

理科 中 2 日本の天気と気象災害の解答

記述は解答例です。同じ内容が表されていれば、表現が異なっても正解とします。

問 1　大気の動きと海陸風

(1) 偏西風　(2) 西から東　(3) 季節風
(4) 海風　(5) 陸風　(6) 陸

記述例　昼は陸が海より温まりやすく、陸上の空気が温まって上昇する。
　　その空気を補うように海から陸へ空気が流れ、海風が吹くため。

採点のポイント　陸の温まりやすさ、陸上での上昇、海から陸への空気の流れを関連付けている。

補足　季節風は季節による風向の違い。海陸風は昼と夜による風向の違い。

問 2　冬の天気

(1) 西高東低　(2) シベリア気団　(3) 北西
(4) 水蒸気　(5) 日本海側　(6) 太平洋側

記述例　季節風が日本海で水蒸気を得て、山地で上昇して冷え、雪や雨を降らせる。
　　山を越えた空気は水蒸気が少なく、太平洋側では乾燥して晴れやすくなる。

採点のポイント　水蒸気の補給、山地での上昇・冷却と降水、山を越えた空気の乾燥を書いている。

補足　冬型の気圧配置のときの傾向。南岸低気圧が通ると、太平洋側でも雨や雪が降る。

問 3　春と秋の天気と梅雨

(1) 移動性高気圧　(2) 偏西風　(3) 梅雨
(4) 梅雨前線　(5) オホーツク海気団　(6) 秋雨前線

記述例　偏西風の影響で、移動性高気圧と温帯低気圧が西から東へ交互に通る。
　　高気圧におおわれると晴れやすく、低気圧が近づくと雨が降りやすいため。

採点のポイント　移動性高気圧と低気圧が西から東へ交互に通過することと、天気の変化を書いている。

補足　梅雨前線や秋雨前線は停滞前線。前線に沿って暖気が上昇し、雲や雨が生じやすい。

問 4　夏の天気と台風

(1) 小笠原気団　(2) 南高北低　(3) 積乱雲
(4) 台風　(5) 17.2m/s　(6) 台風の目

記述例　台風は熱帯の暖かい海上で発生し、一般に前線を伴わない。
　　温帯低気圧は中緯度付近で発生し、寒気と暖気の境に前線を伴う。

採点のポイント　台風は熱帯の海上で前線なし、温帯低気圧は中緯度で前線ありと区別している。

補足　最大風速は 10 分間平均。台風の目の周囲には積乱雲が発達し、強い風や雨を伴う。

問 5　気象災害と防災

(1) 洪水　(2) 土砂災害　(3) 高潮
(4) 線状降水帯　(5) ハザードマップ　(6) 避難

記述例　適切ではない。急な増水で流される危険があるため、川には近づかない。
　　避難情報を確認し、安全な経路で危険な場所から避難する。

採点のポイント　増水の危険を挙げ、川に近づかず安全に避難する行動を書いている。

補足　避難指示は警戒レベル 4。災害の種類に応じ、避難先や経路を事前に確かめておく。